

審 議 経 過

1. 開 会

2. あいさつ

（松本教育長） 省略

（事務局）

それでは、議事に入らせていただきます前に、本審議会の委員についてご説明します。「伊万里市スポーツ推進審議会条例」の第4条で委員の任期は2年間となっており、昨年6月に10名の皆様へ委員の委嘱をしましたが、9名の方に再委嘱しており、今回新たに伊万里市スポーツ少年団の重松英明様に委嘱しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また、第5条の規定にありますとおり、審議会には会長及び副会長を置くことと定められており、その選出につきましては、これまで事務局よりご提案させていただき、ご承認をいただいております。今回も同様に事務局からご提案してよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

事務局といたしましては、会長に伊万里市スポーツ協会の吉武幾二郎様、副会長に学識経験者から中嶋八重廣様をお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

（異議なしの声）

ありがとうございました。皆様にご承認いただきましたので、お二方、どうぞよろしくお願いいたします。

これからの議事進行につきましては、吉武会長をお願いしたいと思います。

3. 報告事項

（会長）

それではさっそく報告事項にまいります。（1）令和7年度社会体育行事について、まずは①から⑦まで、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

資料を用いて、下記について説明

（1）令和7年度社会体育事業について

- ①社会体育行事の結果
- ②各種表彰者

- ③各種補助金
- ④体育施設の利用状況
- ⑤体育施設の改修等状況
- ⑥地域運動広場等真砂土等支給状況

(質疑)

委員 : 今回、郡市対抗県内一周駅伝大会において、伊万里市チームが2位の結果となったが、伊万里市から補助金などの支援を行っているのか。

事務局 : 市から直接支援は行っていないが、伊万里市スポーツ協会から伊万里市チームに対し、激励金の形でチーム運営に係る経費に対する支援を行われている。令和7年度から、伊万里市スポーツ協会は飲料の自動販売機による収益事業を市に移管され、運営経費を市補助金で賄われていることから、市がチームに対し、間接的に支援を行っていることとなる。

委員 : 今回表彰を受けられた中畠徠稀さんは硬式野球をされているようだが、市内のチームに所属されているのか。また、市内に硬式野球チームがあるのか。

事務局 : 中畠さんは唐津市のチームに所属されている。市内から有田や武雄のチームに所属している子もいるが、市内にも硬式野球チームが復活したとの話も聞いている。

4. 協議事項

(会長)

協議事項に入りたいと思います。協議事項について提案をお願いします。

(事務局)

資料を用いて、下記について説明

- (1) 令和8年度社会体育基本方針
- (2) 令和8年度社会体育行事計画
- (3) 令和8年度社会体育関係予算

(質疑)

●令和8年度社会体育基本方針

委員 : ハーフマラソンの参加者を3,000人と明記しているが、年によって変動すると思うので明確にしなくてもよいのでは。

事務局 : ご意見を踏まえ、記述を検討する。

委員 : 陸上競技場の日本陸連による第3種公認は令和9年9月が期限であるが、今回、方針に記載しているのはなぜか。

事務局 : 今回は大規模改修が必要と考えており、財源確保に向け国の交付金要望を行っている。国交付金の採択率は近年厳しく、現在進めている擁壁改修に対しても当初要望額に対し8割の採択となっている。また、総合体育館の建設を令和9年度から予定しており、平準化を図るためにも令和8年度での改修を進めたいと考えている。

委員 : 部活動の地域展開が本格化することから、方針の中に盛り込むことはできないか。

委員 : 地域において少子化が進行し、各学校単体による部活動は難しくなってきたおり、現に先ほど表彰の部で紹介があった大坪赤門南波多野球部はすでに地域を超えたチーム結成をされている。今後も方向性についてはみんなで考えていく必要がある。

事務局 : 今回資料としてご覧いただいているのは、スポーツ課が所管する施策についての方針案であり、部活動を所管する学校教育課は別の施策方針を持っている。部活動の地域展開については、学校教育課とも協議し、記載内容について検討する。

5. その他

委員 : 市内競技団体が市外へ合宿する場合は、何らかの補助金があるのか。

事務局 : 市内施設を利用して合宿を行う市外団体に対しての補助金はあるが、逆の補助金については現時点ではない。

委員 : 地域の少子化に関して、高校も単体での部活動が厳しくなる中、市内高校部活動を国見台体育施設に集約するなど、大規模な指針を立ててもよいのではないか。先ほども話があったが、既に野球やバレーボールでは地域を超えたチーム編成が進んでおり、部活動の集約も自然な流れである。

委員 : 白石町では3校の中学校を統合し、高校と連携して部活動に取り組んでいる。

委員 : 総合体育館の建設に際し、現在の管理棟会議室はどうなるのか。

事務局 : 事務所は新体育館に作る予定であるが、陸上競技場や庭球場を管理するには現行管理棟が最適であり、倉庫もあるので、残すことになると思われる。

委員：更衣室のリニューアルを望む声もあるが、東西松浦駅伝大会等各種大会での賞状やトロフィーを飾る場所が欲しい。新体育館の通路等に展示室ができればいい。

委員：学校の統廃合により学校施設は閉鎖されているが、山代ジュニアアスリートクラブは、東小学校と西小学校の児童合同による陸上クラブであり、西小学校グラウンドで練習している。西小学校が閉校後も練習環境の確保について配慮をお願いしたい。

委員：学校施設（体育館、グラウンド）の借用に関し、今年度から、学校閉校日（お盆、年末年始）での利用ができなくなった。今年度は高校体育館の借用ができたが、閉校日の利用について柔軟な対応をお願いしたい。

（事務局）

以上をもちまして、スポーツ推進審議会を閉会します。